

第2部 21世紀子どもたちを支える動物たち 公益社団法人日本動物病院福祉協会 CAPP活動から

Part 2 21st Century – Animals which support children:

the CAPP activities of the Japan Animal Hospital Association

柴内 裕子 公益社団法人日本動物病院福祉協会 顧問 赤坂動物病院 院長

Hiroko SHIBANAI Advisor, Japanese Animal Hospital Association (JAHA) Director, Akasaka Animal Hospital

21世紀 子どもたちを支える動物たち
公益社団法人 日本動物病院福祉協会 CAPP活動から

2009.12.12



公益社団法人日本動物病院福祉協会 顧問
赤坂動物病院 院長
柴内 裕子




ヒューマン・アニマル・ボンドHAB
(人と動物との絆)
人類は自然の中で動物の一員として
人間としての感性を育て、今日に至った



人と動物との相互作用

- 高齢者は未来の話題を
- 通院少なく、投薬少なく
- 入院日数の短縮、健康で在宅が長くなる
- 高齢者の健康を支える社会的経済負担の軽減に





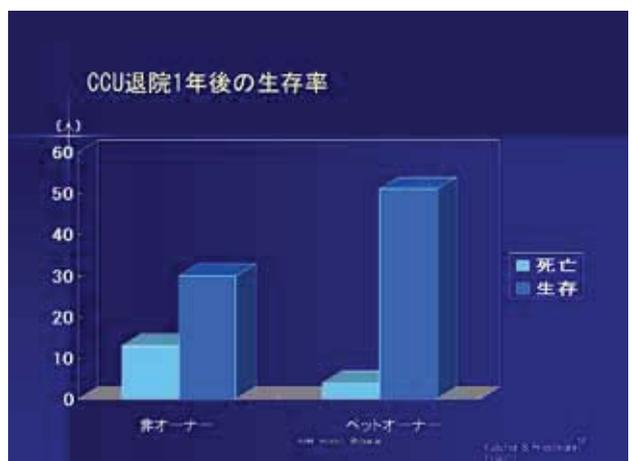
人類は動物たちがそばにいと

注目

- 緊張がほぐれ笑顔となり声が出て、身をかがめ、能動的になる
- 動物たちは人に内在する優しい言葉や思いやりの動作をごく自然に引き出す名手です



■ 動機づけ



今注目される「アニマルセラピー」 メディアの造語

動物介在活動 動物介在療法 動物介在教育

AAA



AAT



AAE



- この3つは明確に分けられている



信愛病院作業療法



AAA、AAT、AAEは全て
共通のヒューマンアニマルボンド
=HABの理念に基づいて
実践されている

- 人と動物の相互作用から生まれる効果をAAA(福祉) AAT(健康) AAE(教育)に生かす
- そのことは動物たちの福祉、健康、教育でもある



近年AATを活用している 医療現場

- 慢性疾患、精神科、リハビリテーション、高齢疾患、小児科、腫瘍性疾患、ホスピス等に



動物介在活動 (AAA)

- 動物たちとの触れ合い活動
- 正しいしつけと健康管理をされた動物たちとふれあうことによって、生活の質を高め、ポジティブな生活への動機づけ、きっかけづくりとなる



ホスピス病棟

動物介在療法 (AAT)

- AATは人の治療(医療)に動物を介在させる補助療法の一つ
- 医療従事者(医師・療法士等)がその患者様の治療を目的にプログラムを作り、それに適した動物を介在させて行う治療で、経過を記録し、効果の判定までを行う



動物介在教育 (AAE) (ヒューマンアニマルボンド教育)

- 子供たちが、この時期に自然や動物とふれあい、優しさや思いやりの心を直感し、体得することは、ヒューマンな脳の発達に、温かい感受性豊かな人間形成に大切な役割を果たします。



動物介在教育(AAE)

- 動物との正しいふれあい方
- 動物を悪者にしない(人の接し方によって)
- 動物の正しい世話の仕方
- 野生動物はペットではない
- 不幸な動物を増やさないために
- 動物たちのために自然を大切にしよう等々



1986年3月1日

人と動物とのふれあい活動 Companion Animal partnership program CAPP活動

- 動物介在活動 AAA
- 動物介在療法 AAT
- 動物介在教育 AAE



厚生労働省認可(社)日本動物病院福祉協会
(JAHA)の社会貢献活動

1986年3月1日



1986年3月1日

(社)日本動物病院福祉協会 CAPP活動の実績

- 1986年～2009年3月
- 全国活動回数 10,300回
- 事故 0 アレルギー 0
- 全国80チームが共通の基準を守る
- 参加動物の育成・ボランティアの養成



1986年3月1日



1986年3月1日

聖路加国際病院小児病棟における CAPP活動2003年3月より132回

- 日本で初めての小児病棟への訪問
- 月2回(45分)の訪問



医師の許可を受けた子どものみ参加

1986年3月1日

注意欠陥多動性障害(ADHD)や 行為障害(CD)児への動物介在教育

- 落ち着き、攻撃性の低下、周囲との協調性、学習性、自己の行動制御、出席率等に効果がある

- アーロン キャッチャー、サムエル ロス



1986年3月1日



千葉県こども病院

1986年3月1日

活動動物は一般家庭の家族、 幸せに暮らしている



10/10/10 10/10/10

1

豊かな？先進国の悩み

- 核家族化・薄くなった家族・親族のつながり
- 低出生化・ひとりっ子、いじめの問題
- 人間性喪失社会・周囲への無関心
- コンクリート化・心の豊かさ・潤い・ぬくもりの喪失
- 高齢化・仕事・愛情等の心の支えを失った人々
- 都市化・人と人の絆の希薄化
- 犯罪の低年齢化・判断力を失う、不安定な情動「キレ」

10/10/10 10/10/10

1

保護動物の幸せ



10/10/10 10/10/10

1

今 日本は？



- 日本人の平均寿命 世界最長
- 日本人の出生率 世界最小
- 最も長寿なのに子供を生み育てる力を世界で最も失ってしまった
- 35,000人以上の自殺者

10/10/10 10/10/10

1

公益社団法人 日本動物病院福祉協会の CAPP活動で行われた AAE(主に小学校への訪問活動)



- 活動の大半が単発的であったが、近年その内容が重視され、継続的の申し出が多くなっている

10/10/10 10/10/10

日本における家庭内暴力の発生

- 2004年 14,410件
- 2005年 16,888件
 - 殺害に及んだ 78件
 - 暴力に及んだ 202件
 - 傷害に及んだ 887件



10/10/10 10/10/10

1

IAHAIO リオ宣言(2001年)

- 動物介在教育のガイドライン、コンパニオンアニマルとの正しいふれあいを通じて、道徳的、精神的、人格的成長に役立てる
- 学校教育への導入 教育目的
- 動物の条件 動物への配慮



10/10/10 10/10/10

1

日本では今

- 犬 1,250万頭以上
- 猫 1,245万頭以上

旧総理府調べ



日本の15才以下
の子どもはおよそ
1700万人？

10/10/10 10/10/10

1

21世紀にこそ

- 人類のそばに動物たち(自然)が必要
- 環境の変化・社会の変化・家族の変化を補う
- 人の福祉と健康と教育のために動物達が必要



今望まれること

- 動物や自然を介して、安全な社会を支える人を育てること



いつも活動にご協力
ありがとうございます
ございます

Human Animal Bond



これからも大切に進めましょう